

## 地域住民等へのヒアリング調査結果概要について

## 1. 調査の概要

地域住民やコミュニティタクシー運行事業者等に、地域の移動に関する意見や特に地域コミュニティ交通に係る課題などを聞き取り、計画策定における基礎資料とするため、下表の4地域においてヒアリング調査を行った。

調査実施にあたっては、最初に、各地域で運行する地域コミュニティ交通の利用動向、収支状況、利用者等のアンケート調査結果等について報告・説明し、これらを踏まえた上で、地域公共交通に係る意見交換を行った。

地域	実施概要
本郷町	日時：令和元年 11 月 29 日（金） 16:30～ 場所：本郷支所 参加者：町内会長連合会 2 名，オペレーター 2 名，運行事業者 3 名
久井町	日時：令和元年 11 月 22 日（金） 18:00～ 場所：久井支所 参加者：自治区連合会 9 名，久井支所 4 名，社会福祉協議会 1 名
大和町	日時：令和元年 11 月 21 日（木） 19:00～ 場所：神田公民館 参加者：自治振興連合会 8 名，オペレーター 2 名
八幡町	日時：令和元年 11 月 11 日（月） 19:00～ 場所：八幡町コミュニティホーム 参加者：町内会役員 6 名，地域支援員 2 名，運行事業者 1 名

[本郷町]



[久井町]



[大和町]



[八幡町]



図 実施の様子

## 2. 結果概要

調査で把握した主な意見を、以下に示す。

### [本郷地域]

---

- ・ 利用は好調であり、会員数は1,044名となった。今も月2～3人程度の新規の利用がある。利用者からは大変助かっているといった声を聞いている。  
(事業者より)
- ・ ふれあいタクシーは既に定着しており、地域になくてはならない手段。高齢の方も増えてきており、安く病院、買い物に行けるので感謝されている。地域のために仕事をしている。
- ・ 迎えに行く場合、お客によっては玄関までの道が狭く、車を擦りそうな時がある。その場合、できれば広い所まで少しだけ出て、待っていただきたい。  
(→町内会長連合会から町民に発信し、協力を依頼する。)
- ・ 町内は広く、場所によっては1行程が40分から45分かかかるような場合もある。今は運行が出来ているが、今後利用者が増えていく場合はダイヤを見直さないと運行が間に合わないと考える。
- ・ デマンド運行が始まり利用が増えるのは良いことだが、一方で一般タクシー事業が圧迫されるのが問題と捉えている。

### [久井地域]

---

- ・ 利用が減少している今のふれあいバスは、ドア・ツー・ドアのデマンド運行に転換して、便利にするしかないのではないか。
- ・ ふれあいバスは、通院の時は無料。しかし、大和や本郷では300円で、敬老優待なら200円。久井の場合も、応分の負担を求めてもよいのではないか。
- ・ 現行のふれあいバスからデマンド交通への移行に向けて、次年度に市と具体的な協議を進めたい。

### [大和地域]

---

- ・ ふれあいタクシーは、家まで迎えに来るから高齢者が使いやすい。バス停まで歩くのが大変という方も多い。
- ・ 周辺の本郷町や世羅町のデマンドタクシーと連携する等して、ふれあいタクシーが町外まで行けるようになれば有り難い。
- ・ 公での移動支援が難しいなら、地元が担うしかない。そのため自治振興連合会に自動車を貸し出すのがよいのではないか。その場合、タクシーを圧迫せずに運用しないといけない。
- ・ タクシー券を発行して交通弱者を救済するなど、三原市独自の方策を考えてほしい。
- ・ 公共交通だけでクリアしようとすると無理がある。福祉タクシーの活用など、市の福祉の担当と一緒に実施するべきであろう。市の考え方を変えていかないといけない。

[八幡町]

---

- ・ 月1回のサロン活動を、さくら号が運行する曜日に変更した。 民生委員等と協力して、ひとりひとりにお願いしたので変更は大変だったが、おかげで利用者が増えた。
- ・ 路線バスとの乗り継ぎ利用があるため、乗り替えがわかりやすく示された時刻表があってもよい。
- ・ 三原まで運行して欲しいという意見もあるが、路線バス会社の経営に影響がある。 そこまで無理してやってはいけないと思う。

以 上